

ましこアカマツ復活プロジェクトの取り組み！ （令和元(2019)年12月13日）

かつて益子の山にはアカマツが豊富に生育し、豊かな環境と景観を形作るとともに、益子焼の窯焚きに利用されていました。

しかし、現在ではマツ枯れなどの影響により、その多くが失われています。

そこで、益子町では町木でもあり、歴史ある益子の風土の象徴となるアカマツを復活させる「ましこアカマツ復活プロジェクト」を実施しています。

ましこアカマツ復活プロジェクト

○益子町内の小学生等の手で、『焼き物の里益子』のアカマツ林を復活させよう！

○アカマツと町の歴史について学ぶとともに、子供たちの郷土愛と自然の大切さ、森林の働きへの理解を深めよう！

○平成29年8月に実行委員会を設立、取り組みスタート

お手入れ対象のアカマツ林



今年で3回目となるアカマツ林のお手入れプロジェクト

平成29年、平成30年と、実行委員会の中心メンバーである「益子里山の会」の方々による下刈りと、**益子町内の小学生**の枝打ち作業のおかげで、少しずつきれいな林に変わりつつあります。

平成28年は、このような状況でした。



今年からは、いよいよ、間伐に取り組んでいきます！

今回は、その様子をお知らせしていきます。

令和元(2019)年12月13日(金)くもり

プロジェクト3年目、「森林整備体験学習」が、益子の森のアカマツ林において実施され、益子町立益子西小学校5年生が間伐に挑戦しました。



安全第一に！

子供たちが到着する前に、指導にあたる益子里山の会の方々が、入念に打ち合わせです。

児童たちが到着！

益子西小学校5年生
児童約50名、引率の先生3名
それぞれがヘルメットとゴーグル
を手に、緊張のおももちです。



町木アカマツ について

今年は、アカマツが元気に大きく育つよう、育ちが悪い木や曲がった木を切る「間伐」の作業を実施します！

エー！ ここを登っていくの？

あえて、園内の遊歩道ではなく、林の中を登っていきます。これも体験のひとつ。



益子西小学校の精鋭部隊が
山歩きの大変さを実感し、
現場到着！



早速、間伐作業に取り掛かります。
みんな！十分に気を付けてね！

こんなノギリ初めて！



上手！その調子！



みんなで協力！



倒す方向を考えながら！



もうすぐ倒れるぞ！
安全な場所に。



倒した木もきれいに処理！



みんな！キレイなアカマツ林になったかな？



真新しい切り株に、子供たちの成果が表れています！



帰りの子供たちの後ろ姿。
初めての経験で興奮気味でしたが、
感謝の気持ちを忘れない礼儀正しい背中に、
頼もしさを感じます。

年明けには、アカマツ苗木植栽プロジェクトが待っています。
次の主役は、益子西小学校の6年生。実行委員会の皆様、よろしくお願いします。

この体験教室の実施に当たっては、「とちぎの元気な森づくり県民税」が使われています。